

共用品推進機構だより 2015年07月17日(14)

目次

(58) 共用品推進機構関連記事

▽「利き手によって変わる不便さを解消／星川安之」

(59) サービス関連記事

▽「徘徊、服にQRコード／メディカル・ケア・サービス」

(60) 行政関連記事

▽「優良おもてなし 経産省が認証へ」

(61) 新刊紹介

▽『車椅子インストラクターという仕事』

▽『ユニバーサルデザインの教科書 第3版』

▽『盲人福祉の歴史 近代日本の先覚者たちの思想と源流』

(58) 共用品推進機構関連記事

▼「利き手によって変わる不便さを解消／星川安之」

世界中には「右利きの人」が9割、左利きの人が1割いると言われています。そのため、いろいろな製品や設備機器などは、圧倒的に「右利き」の人が使いやすいようにできてしまっています。

駅の自動改札機は、カードを挿入したり、かざしたりする場所は、進路方向の右側についています。

扇子も、左利きの人にとっては使いづらい道具。扇子を通常通り開いて、左手であおいでみてください。おそらく扇子は段々、閉じてくるかと思えます。

もう一つはトランプです。右手で複数のカードを持って、カードを扇形にして広げてみてください。数字が見えなくなってしまったかと思います。このように世の中の至る所に左利きの人には使いづらいものが溢れています。

けれども、解決方法もあります。ひとつは、左利き専用のモノを作ること。ただ、その難点は、売れる数が少ないため、コストが高くなってしまいます。

もう一つの解決は、右利きも、左利きも両者使いやすくすることです。トランプを例にとると、数字をカードの4隅に表示することです。これであれば両者使え、しかもコストも同じで可能です。

(エルダリープレス—シニアライフ版— 2015年6月号より抜粋)

(59) サービス関連記事

▼「徘徊、服にQRコード／メディカル・ケア・サービス」

大手介護のメディカル・ケア・サービスは徘徊中の高齢者を発見した際に、居場所を共有する伝言サイトを立ち上げる。QRコードが記載されたシールを衣類に貼っておき、発見した人が携帯電話で読み取ると、サイト経由で家族に所在を知らせる。

同社の子会社が伝言板サイトを立ち上げ、QRコードが記載されたシールも販売する。

シールのサイズは縦3cm、横5cm。徘徊する恐れのある高齢者の家族などがアイロンを使ってシールを衣類に貼り付けておく。地域住民が徘徊中の認知症高齢者を発見した際に、シールのQRコードを携帯電話で読み取ってもらくと、伝言板サイトにアクセスする。伝言板に発見した場所などを書き込むと、その情報を元に家族に自動的にメールが送られる。

(日経MJ 7月10日9面より抜粋)

(60) 行政関連記事

▼「優良おもてなし 経産省が認証へ」

経済産業省は 2020 年東京五輪に向け、おもてなしに優れた旅館や商店街などにお墨付きを与える認証制度を、16 年度から始める方針を示した。訪日外国人の需要を狙い、多言語対応やクレジットカード利用の可否といった基準を設け、安心して旅行や買物をする目安にしてみよう。

経産省が近く有識者会議を立ち上げ、具体策の検討に入る。

(日経MJ 7月15日11面より抜粋)

(61) 新刊紹介

▼『車椅子インストラクターという仕事』

車椅子の人たちの”普通の生活”を支えるテクニックとは？日本で初めての車椅子インストラクターと7人の車椅子ユーザーが、車椅子のある仕事と暮らしについて語る。車椅子テクニックの動画を収録したDVD付き。

著：岡野善記（おかの・よしのり）蜂須賀裕子（はちすか・ひろこ）

発行：はる書房

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-89984-151-7

▼『ユニバーサルデザインの教科書 第3版』

超高齢化社会を迎えるモノづくり・ブランドづくりのヒントがここに！ユニバーサルデザイン（UD）の基本的理念と実践の方法を身につけるための教科書。使いやすさの検証や実験の手法を優しく解説する。

監修：中川聡（なかがわ・さとし）

編：日経デザイン

発行：日経PB社

本体価格：3000円（税別）

ISBN：978-4-8222-3501-7

▼『盲人福祉の歴史 近代日本の先覚者たちの思想と源流』

近代日本における盲人福祉史の源流の一つとなった好元督・中村京太郎・熊谷鉄太郎。彼らの個々の生涯のみならず、その連続性に注目し、歴史的な背

景とともに、その位置や意義を考察する。

著：森田昭二（もりた・しょうじ）

発行：明石書店

本体価格：5500 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4210-8

（編集後記）

先週 7 月 6 日に東京ドームホテル（東京都文京区）で第 16 回共用品推進機構活動報告会を開催いたしました。

今回も多くの方にご出席頂き、ご挨拶をさせて頂いたり、情報交換等を行ったりすることができました。

この様子は、共用品のブログや次号インクル（97 号）でもご紹介していますので、お時間のある時にご覧いただけますと幸いです。（森川美和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>